

ベストミックス・インベストメント News Letter 2013 年 11 月号

当社は 11 月 5 日から 8 日かけて、東京、名古屋、大阪の 3 都市で年金基金の運用担当者を主体に『投資戦略研究会』を開催いたしました。今般、サマリーを News Letter として作成いたしました。

今回の投資戦略研究会のテーマは 2 つでした。

1. MSCI 指数の基礎知識
2. FSI 社のワールドワイド株式投資戦略の研究

1. MSCI 指数の構造を理解するセッション

- 最初のセッションでは、弊社代表取締役社長の古川が、年金運用でベンチマークとなっている MSCI インデックスについて、その中身や構造について解説を行い、どのように採用国や企業が決まるのか基本的なルールを解説しました。また MSCI 指数には時価加重指数と GDP 指数の 2 つがあり、GDP 指数の方が MSCI 指数よりも高い結果が得られることを紹介しました。また、全採用国の GDP 合計額を 100 とした場合の先進国、エマージング国、フロンティア国の割合と採用企業の時価を 100 にした場合のそれら割合を比較し、その違いを知って頂く機会となりました。年金運用は資産配分が重要と一般的に理解されていますが、時価配分で行くのか、あるいは GDP 配分で行くのかで、結果が全く異なることも示唆させていただきました。
- しかし、年金基金にとって真に必要なことは、ベンチマークとなっているインデックスに勝つことではなく、年金資産の拡大です。逆に言えば、年金基金にとってのリスクとはインデックスに負けることではなく、年金資産が毀損することです。そうであるならば、年金基金にとって必要な運用商品はどんなものでしょうか。

2. FSI 社 (First State Investment) の投資哲学について

- 次のセッションでは、オーストラリア最大の銀行、コモンウェルス銀行傘下の FSI 社 (First State Investment) 及び、ワールドワイド株式投資戦略について、ファンド・マネジャーのアラン・ネズビット氏から説明して頂きました。通訳は、同社本社の小林さんに行っていただきました。
- FSI 社は、2000 年にコモンウェルス銀行傘下に入りました。前身は、スコットランドのエジンバラにあったスチュアート・アイボリーです。スチュアート・アイボリーは 1873 年に設立されたスコティッシュ・アメリカン・インベスト

当資料をご希望の方は、メールにてお問い合わせください。

メールアドレス：

bestmix@bestmixinvestment.com